

宿泊データ分析システム 概要説明

令和6年3月

株式会社 J T B

※ 掲載情報は令和6年3月現在の情報です。

- 1 宿泊データ分析システム 沿革
- 2 本事業が目指すもの
- 3 宿泊データ分析システム
 - (1) 宿泊データ分析システムの概要
 - (2) データ収集方法
 - (3) データ分析方法
 - (4) 事業者のメリット
 - (5) 地域全体・観光地域づくり法人 (DMO) のメリット
 - (6) まとめ

1 宿泊データ分析システム 沿革

令和2年度	観光庁「観光地域づくり法人による宿泊施設等と連携したデータ収集・分析事業（令和2年度実証事業）」 として実証スタート 観光庁として宿泊データ分析システムを構築	実証DMO 一般社団法人ニセコプロモーションボード 一般社団法人福島市観光コンベンション協会 一般社団法人秩父地域おもてなし観光公社 一般社団法人下呂温泉観光協会
令和3年度	観光庁「観光地域づくり法人による宿泊施設等と連携したデータ収集・分析事業（令和3年度実証事業）」 として実証継続	実証DMO 一般社団法人秋田犬ツーリズム 一般社団法人吉野ビジターズビューロー 一般社団法人高知県東部観光協議会
令和4年度	観光庁から事業委託者である株式会社JTBに所有権の移転 ※日本版バイ・ドール制度による 秋田県「秋田県観光DMO構築に向けた実証事業」にて男鹿温泉郷にて先行導入/実証	
令和5年度	秋田県「JTB宿泊データ分析システムを活用したデータ収集事業」にて仙北市、鹿角市の一部で導入/実証 秋田県「宿泊データ分析システムにおける県内地域間比較分析機能開発」にて県内地域間比較分析機能を実装	

2 本事業が目指すもの

地域が抱える課題を解決し、持続可能な観光地づくりを目指す

地域が抱える課題(例)

- 意思決定は、“カン”と“経験”が頼り。変化に対応しきれていない。
- 地域全体としてのデータが不足。一部のデータだけで意思決定している。
- データを収集すること自体が大変。その後の分析・活用が進まない。



持続可能な観光地づくり

- 観光客の行動やニーズに基づき適切な意思決定ができています。
- 自社・自地域の強みを把握した上で最適な打ち手を選択できています。
- 不測の事態にも耐えうる強い経営基盤が構築できています。



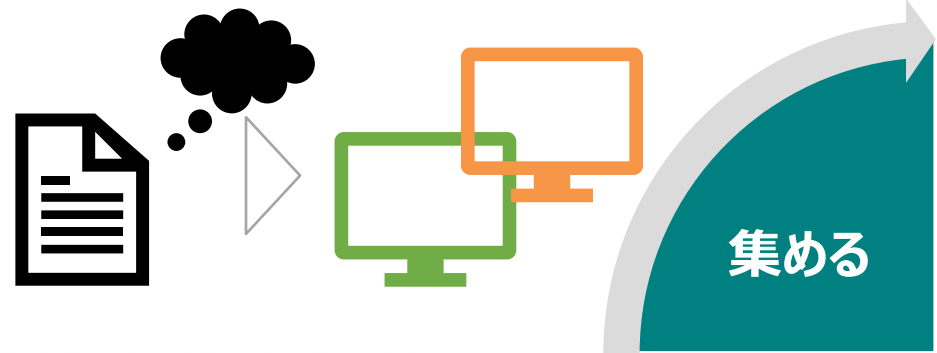
求められているのは

観光客の行動やニーズを、リアルタイムにとらえる仕組み

2 本事業が目指すもの

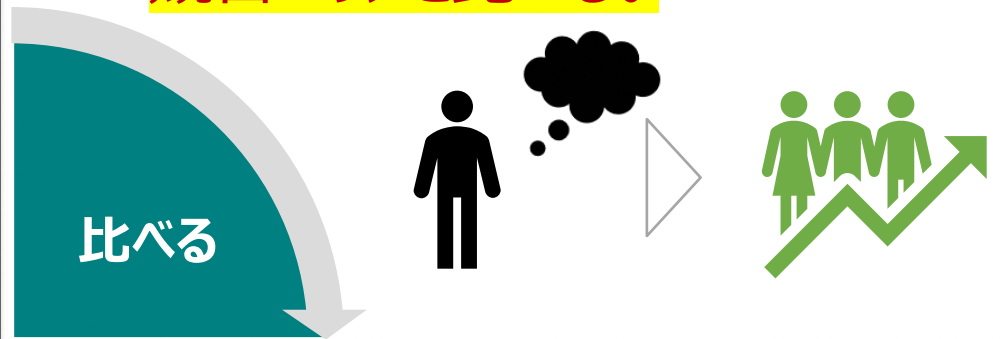
データを集めるのに一苦労。部分的。

⇒ 効率的に集める。広く集める。



比較対象が揃っていない。

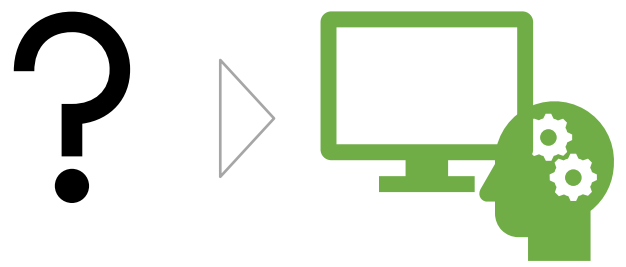
⇒ 過去と比べる。地域全体と比べる。
競合エリアと比べる。



実行する

経験や勘に基づいて実行する。

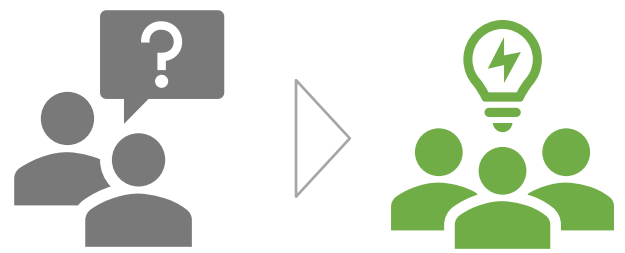
⇒ データに基づいて実行する。



考える

限られた人だけで考える

⇒ みんなで、地域で、考える。



3 宿泊データ分析システム

(1) 宿泊データ分析システムの概要

宿泊データ分析システムは主に宿泊施設が保有する観光客のデータを収集し、提供いただいたデータを活用して、自施設や地域全体のデータを分析して、どのような観光客が地域に来ているのかを正確に把握いたします。

データ収集機能

宿泊施設が保有する
観光客データを収集

宿泊事業者様



宿泊データ 分析システム

どのような観光客が
地域に来ているのか

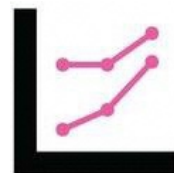
データ分析機能

自施設データや
エリア集計データを分析

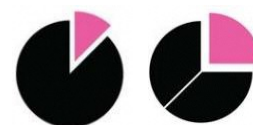
自社分析



エリア分析



競合地域分析
需要予測



3 宿泊データ分析システム

(2) データ収集方法

「①ホテル管理システム(PMS)・サイトコントローラーと自動連携させる」
「②エクセルファイルを取り込む」「③手入力で登録する」の3つです。

いずれも簡単にデータを収集することができます。

※データ収集の際に、個人情報[※]は匿名処理されますので、ご安心ください。

①ホテル管理システム・
サイトコントローラー
と自動連携させる
毎月のデータ収集不要

②エクセルファイルを
取り込む
既存エクセルファイルを
システムにアップロード

③手入力で登録
直接入力もできて安心

効率的にデータ収集



外部データも収集

地域が独自収集したデータ
全国規模の観光関連データ

3 宿泊データ分析システム

(2) データ収集方法

●PMSとは…？

Property Management Systemの略で、ホテルや旅館などの宿泊施設の管理システムのこと。

当システムと自動連携しているPMS

- ・陣屋コネク
- ・RoomBoss
- ・FUTURE V
- ・支配人くん
- ・ステイシー

●サイトコントローラーとは…？

複数のオンライン宿泊予約サービス(じゃらんや楽天トラベルなど)を一元管理できるシステムのこと。

当システムと自動連携しているサイトコントローラー

- ・TLリンカーン
- ・らく通
- ・宿研サイトコントローラー

3 宿泊データ分析システム

(2) データ収集方法 ～多角的に分析するための24項目～

No	項目名	入力例
1	対象施設	施設名称
2	到着日	2020-01-01
3	出発日	2020-01-03
4	居住国	日本
5	居住地域（都道府県）	青森県
6	居住地域（市区町村）	青森市
7	性別	男性
8	生年月日	1970/12/13
9	年齢	49
10	同伴者人数（大人男性）	1
11	同伴者人数（大人女性）	0
12	同伴者人数（小人）	0
13	客室タイプ	和室
14	食事条件	1泊2食
15	交通手段	車
16	旅行目的	観光
17	前泊地	名古屋
18	行先地	白川郷
19	宿泊予約日	2019/06/21
20	宿泊金額	15,000

No	項目名	入力例
21	販売チャネル ・業者 ・インターネット(OTA・自社HP) ・直接申込 ・寮・保養所扱い	自社ホームページ
22	宿泊／日帰り	日帰り
23	新規／リピーター	リピーター
24	合計館内消費額	30,000



- ✓ まずは無理をせずに、保有データから始めてみる。
- ✓ 実際に始めてみて、分析に必要な項目が出てきたら、増やしていく！

3 宿泊データ分析システム

(3) データ分析方法

宿泊データ分析システムは赤い画面と青い画面の2つの画面があります。赤い画面は自施設データを分析するとともに、エリア集計データとの比較などを行い、自施設をメインとした分析ができます。青い画面は地域全体をより深掘りしていくもので、他地域との比較や需要予測、クロス集計などができます。

分析・見える化
(2画面)



1、自施設データを分析する

- ・自施設データを見る
- ・自施設データとエリア集計データを比較する など



実画面：
簡単に切替可能

2、エリア集計データを分析する

- ・地域全体と他地域を比較する
- ・需要予測を行う
- ・クロス集計 など



※自施設のデータは、自施設のみ閲覧可能で、他施設やDMOから閲覧されることはありません。

3 宿泊データ分析システム

(3) データ分析方法

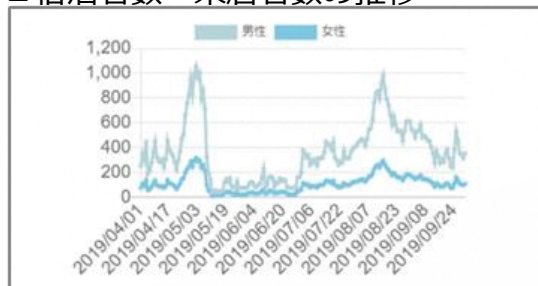
収集されたデータはボタンひとつで簡単にグラフ化できます。

これらのごく一部の例ですが、「宿泊者数の推移」、「国籍別の一人当たりの消費額」、「年齢別の宿泊者数」、「競合地域との比較」や「需要予測」などがあります。

分析・見える化
(2画面)



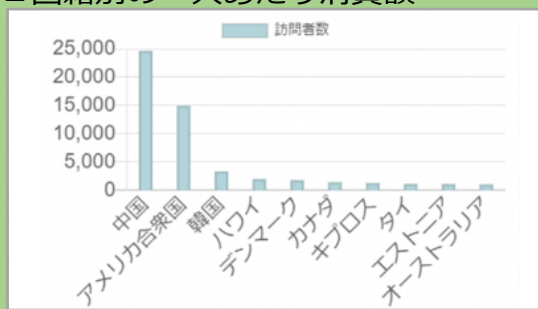
■ 宿泊者数・来店者数の推移



■ 宿泊者数・来店者数の推移



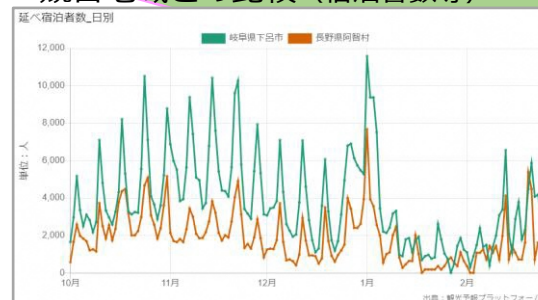
■ 国籍別の一人あたり消費額



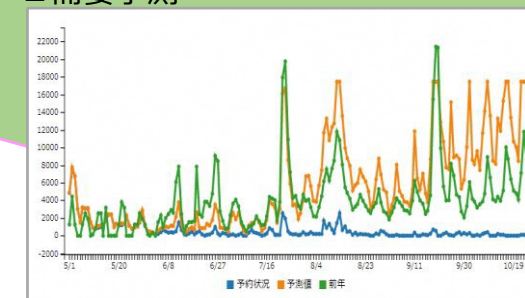
■ 年齢別の宿泊者数



■ 競合地域との比較 (宿泊客数等)



■ 需要予測



3 宿泊データ分析システム

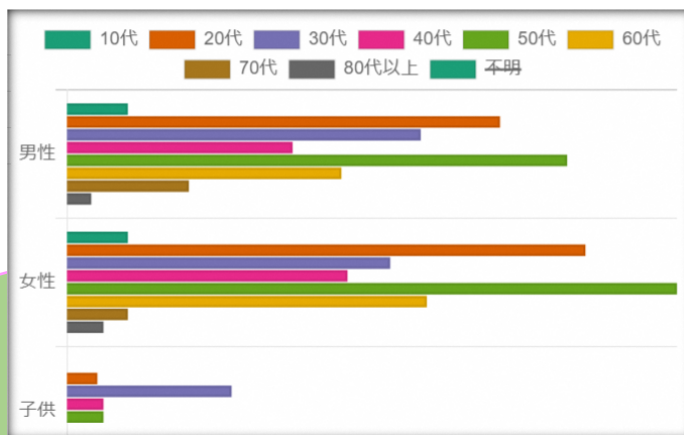
(3) データ分析方法

2つのデータを掛け合わせて精緻な分析をするクロス集計を行うことも可能です。「性別 x 年代別」「性別 x 金額層」「旅行形態 x 金額層」など様々な掛け合わせの分析が可能です。

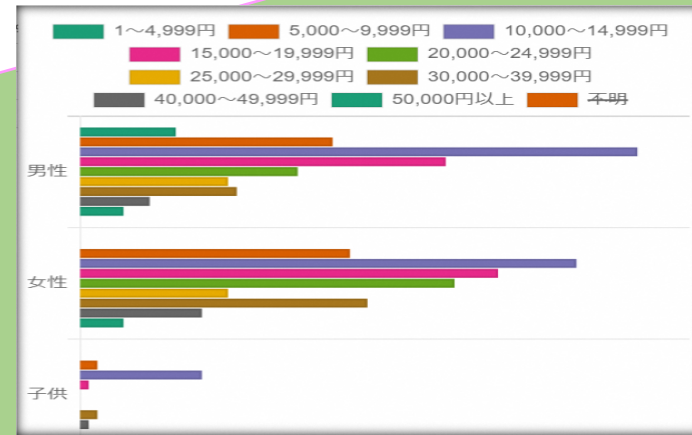
分析・見える化
(2画面)



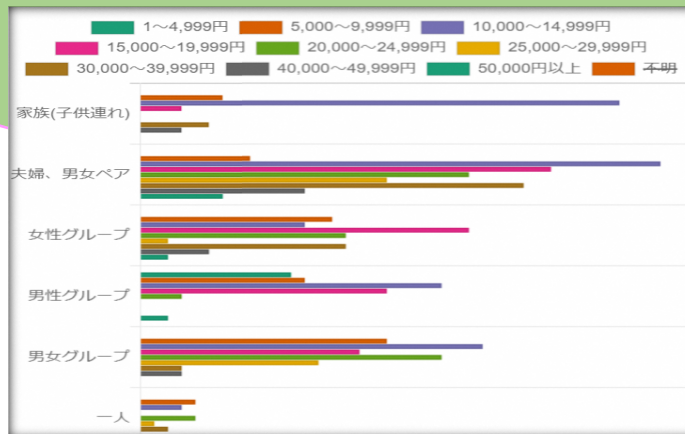
■ 性別 x 年代別



■ 性別 x 金額層



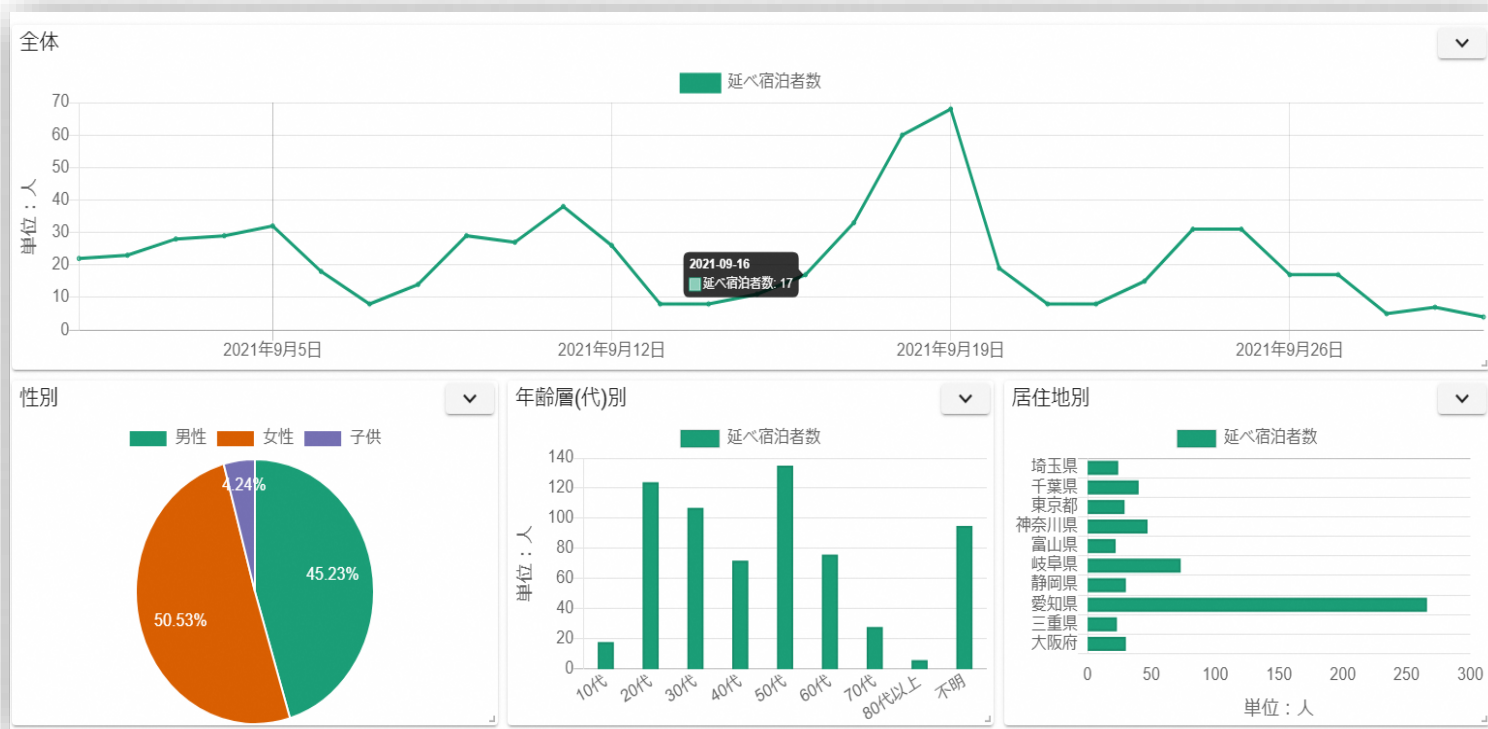
■ 旅行形態 x 金額層



3 宿泊データ分析システム

(4) 事業者のメリット 1

簡単にデータをグラフとして表示できる



- ✓ 通常、作成に時間のかかるグラフの作成がボタンひとつで一瞬でできる
- ✓ グラフ作成時間が削減でき、分析や企画検討に時間を割ける
- ✓ 必要に応じて様々なグラフの作成が可能

※自施設のデータは、自施設のみ閲覧可能で、他施設やDMOから閲覧されることはありません。

3 宿泊データ分析システム

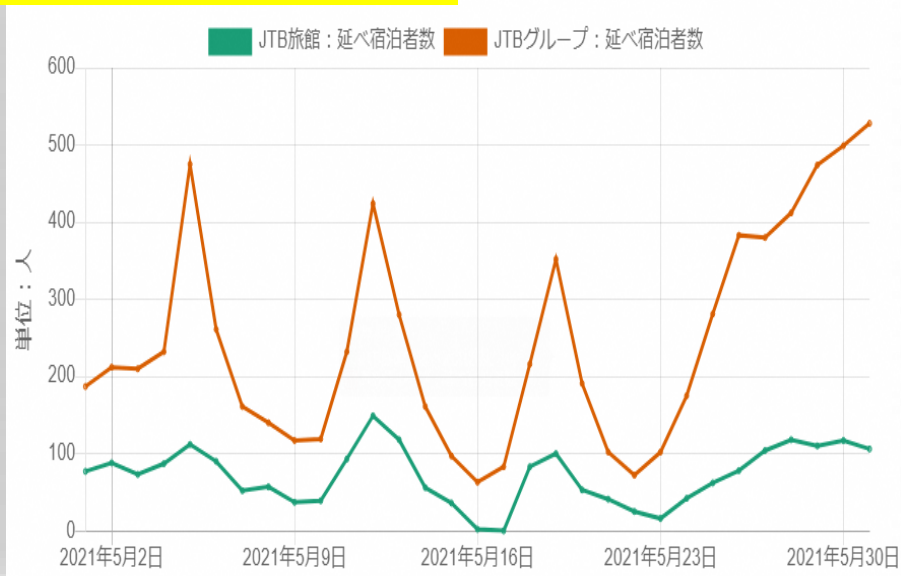
(4) 事業者のメリット2

エリア集計データや過去データと効果的に比較できる

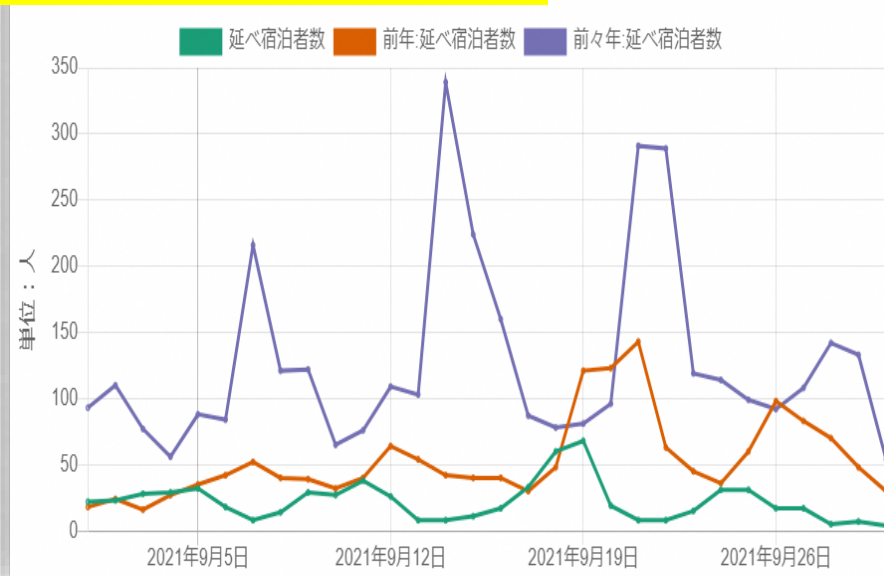
事業者のメリット3

客観的に強み弱みを把握できる

【地域全体データと比較】



【前年・前々年データと比較】



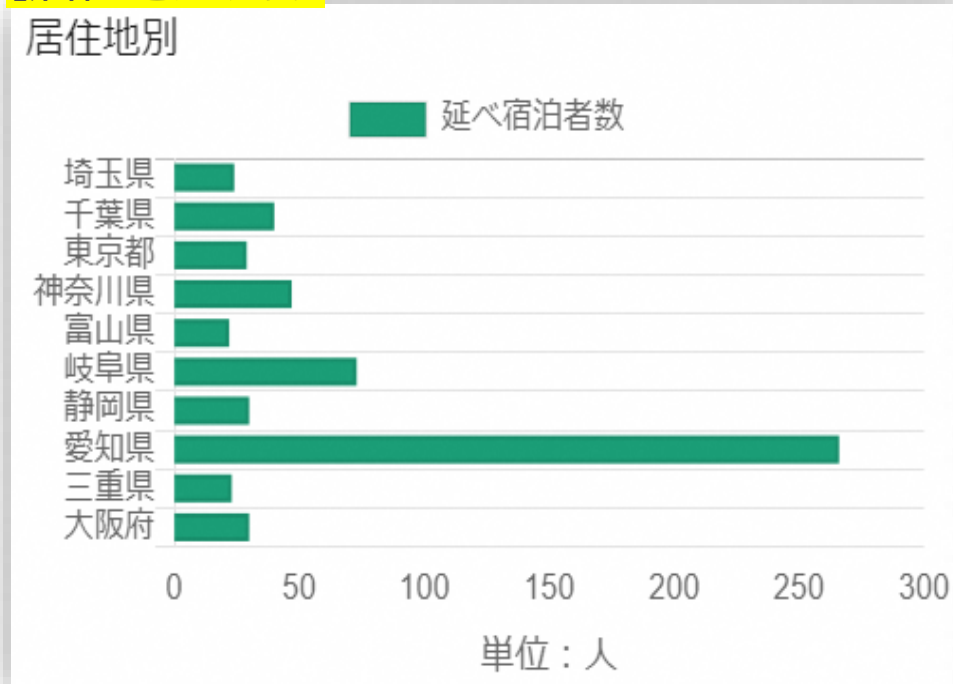
- ✓ エリア集計データと比較することで客観的に自施設の強み弱みを把握できる
- ✓ 前年・前々年データと比較することで客観的に自施設の傾向を把握できる

※自施設のデータは、自施設のみ閲覧可能で、他施設やDMOから閲覧されることはありません。

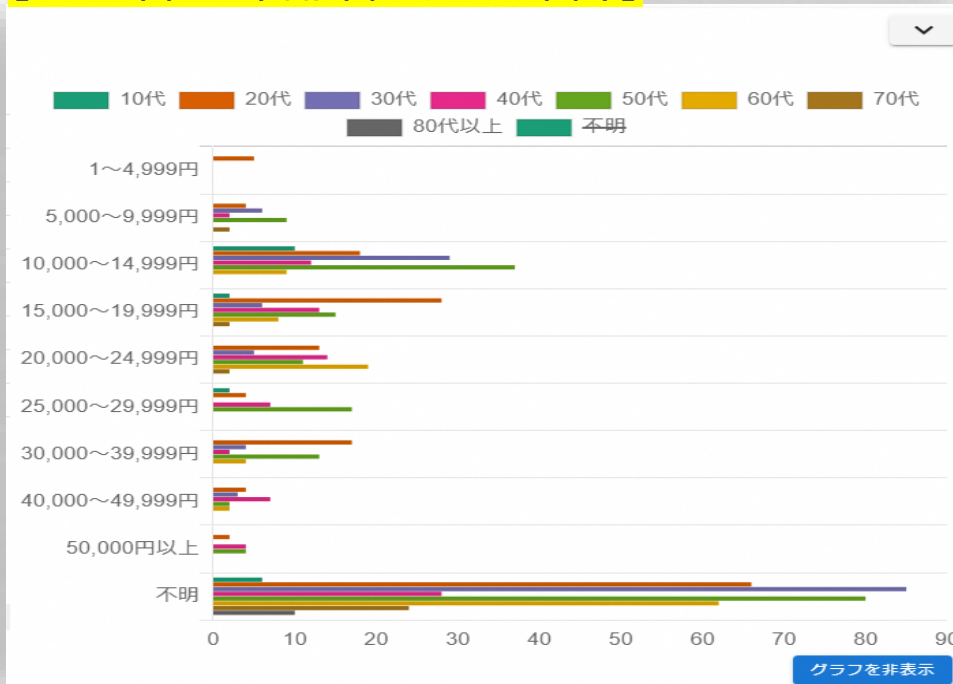
3 宿泊データ分析システム

(4) 事業者のメリット4 戦略的に今後の打ち手を検討できる

【居住地別グラフ】



【金額層 × 年齢層のクロス集計】

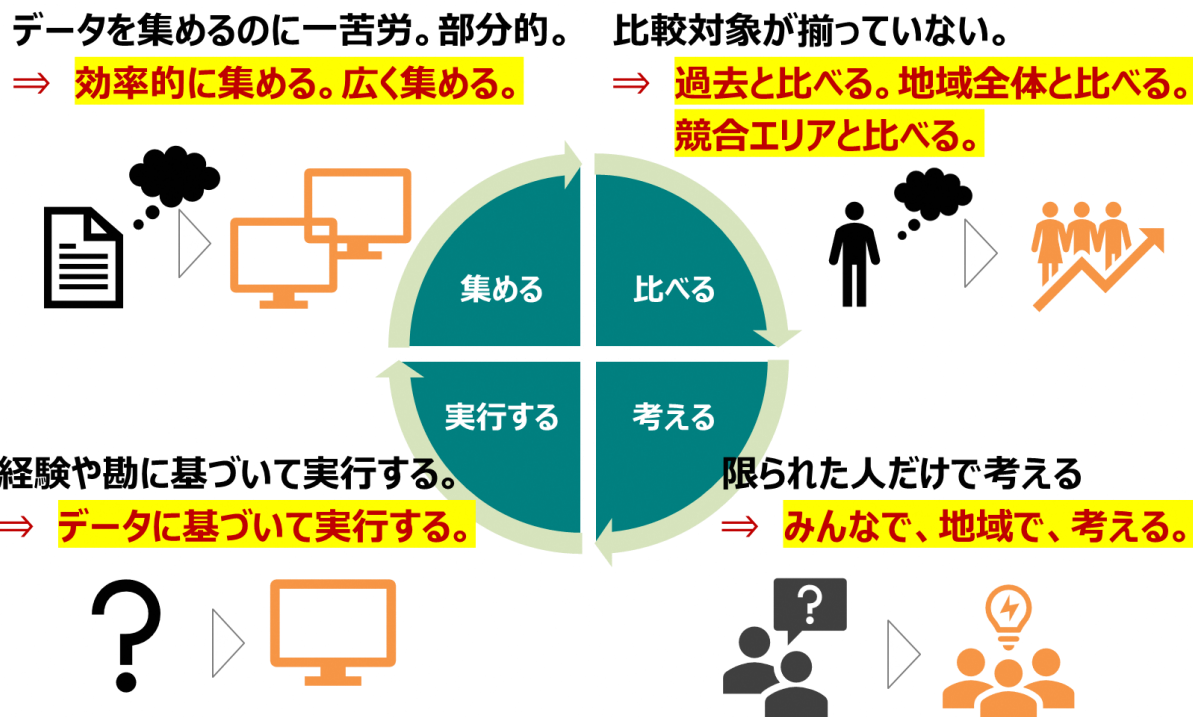


- ✓ 客観的なデータに基づいて分析を行い、戦略的に打ち手を検討できる
- ✓ 自施設の分析でもクロス集計が使えるようになり、さらに精緻な分析ができる

※自施設のデータは、自施設のみ閲覧可能で、他施設やDMOから閲覧されることはありません。

3 宿泊データ分析システム

(5) 地域全体・観光地域づくり法人(DMO)のメリット
持続可能な観光地づくりを目指す



- ✓ 感覚ではなく客観的データで分析を行えるので、場当たりの戦略にならない
- ✓ 地域全体としてデータ分析することで、地域として効果的な打ち手を打ち出せる
- ✓ 打ち手の効果検証も速やかに行えるので、次の打ち手に向けてすぐ対応できる
- ✓ 客観的データに基づいて論理的に組み立てられた事業は検証可能で、計画された事業の成功率が高くなる

3 宿泊データ分析システム

(6) まとめ



宿泊データ分析システムにより…

宿泊事業者様や地域は、以下のメリットが期待できます。

- ① **簡単に** データをグラフ表示できる
- ② **効果的に** 比較できる（過去・地域全体・他地域）
- ③ **客観的に** 強み、弱みを把握できる
- ④ **戦略的に** 今後の打ち手を検討できる
- ⑤ **持続可能な** 観光地づくりを目指せる